

田竈地区自治協議会



田竈地区はうきは市の南東部に位置し、人口 98 人、53 世帯の地域で、1 km程南に進むと大分県日田市前津江町があります。平成 24 年の豪雨災害や風水害等で不安を感じて転居される世帯もあり、重ねて少子・高齢化となり、市内 11 自治協議会で最小人口の地区自治協議会です。

隈上川の上流には天然のヤマメも生息し、たくさんの方がヤマメ釣りに訪れます。また、初夏になると蛸も乱舞します。清流、緑の山々、中山間事業を利用し、住民有志にて景観維持に頑張っています。コミュニティセンターで毎週火、水、木曜日に実施している、ふれあい、健康づくりは、住民の拠り所となっています。

観光スポット等

- 平川家住宅
- かゆ占い

地域をけん引してきた先輩方のお力添えのもと、山間部なりの暮らしやすさを継続できるように努めています。



写真右:会長 渡邊信秀、写真左:事務局長 樋口健次

小塩地区自治協議会



小塩地区はうきは市の東部に位置し、大分県日田市との県境にあり、人口 495 人、242 世帯の小さな山里です。

長年「ほたる」を基盤とした里づくりに努めていて、毎年 6 月上旬には地域を挙げて「ホタル祭り」を開催し、このような活動が認められ、平成 27 年に国から「生物多様性保全上重要な里地里山地区(県内 3 か所)」として選定されています。

観光スポット等

- ホタル祭り
- ホタルの里広場(キャンプ場)
- 鬼火焚き

自治協議会では、基幹をなす様々な組織を集約し、合同事務所として、目的・課題を共有し、地域全体で活動しながら、住みよい小塩地区を目指しています。



写真左:会長 佐藤景一、写真右:事務局長 山崎秀幸

山春地区自治協議会



山春地区は、うきは市の東部に位置し、大分県日田市に隣接する 17 行政区(自治会)からなる人口 2315 名、904 世帯の地域です。地区内には、市指定史跡である「袋野隧道」や、大正時代に農民劇団嫩葉会が造った「野外円形劇場」、「道の駅うきは」などがあり、果樹やお茶の栽培が盛んな地区です。

観光スポット等

- 袋野隧道
- 道の駅うきは

空き家、耕作放棄地、高齢世帯、少子化、農業後継者、世帯・人口減少等々課題が多くありますが、「誰もが生き生きと、安心して住める元気な山春」を目指しています。



写真左:会長 江藤芳雄、写真右:事務局長 永松寿人

地区自治協議会の紹介

11の地区が個性豊かな活動をしています

自治協議会とは「地域の個性を活かした自主的なまちづくり」を推進していくため、旧小学校区(山間部は地区)を基本に11の自治協議会が平成 26 年に発足しました。

地域福祉や防災防災、青少年育成などの地域におけるさまざまな課題に対して、地域の特性を活かしながら市や市民と連携し、「協働のまちづくり」に向けて取り組みが進められています。

Autonomy Councils in Ukiha!



妹川地区自治協議会



妹川地区はうきは市の南西部に位置し、人口 364 人、158 世帯の地域で、「人々のつながりを大切にする妹川づくり」をスローガンに福祉、防災、地域振興に関わる活動をしています。

わくわくいもがわ号(高齢者用無料送迎車)を運行しています。また、イノシシ・アナグマ等による農作物被害は年々増加し住民を困らせているため、獣害対策協議会を設立して年間約 130 件の獣害対策を行うなど、住みよい地域づくりに取り組んでいます。

観光スポット等

- 調音の滝
- 合瀬耳納トンネル
- ジーサイクル マウンテンバイク
- 持木たけのご祭り

過疎化・高齢化が進む中、「過疎指定」を受けたことに伴う事業等を計画しています。妹川地区の課題・施策を市と共有し、よりよい地域づくりを推進していきます。



写真左:会長 國武輝興、写真右:事務局長 國武和義

新川地区自治協議会



新川地区はうきは市の南東部に位置し、人口 190 人、98 世帯で活動しています。

山あいの里、新川は合所ダムの上流にあり、日本の棚田百選に選ばれた「つづら棚田」、伝統的建造物群保存地区選定の茅葺民家があり、棚田石垣を中心として懐かしい魅力的な風景が見られます。彼岸花巡りや森林セラピー、キャンプ場などの自然を身近に感じる行事等を中心に地域活性化を行っています。

観光スポット等

- つづら棚田(日本の棚田百選)
- 岩屋権現(巨岩パワースポット)
- 長岩公園(森林セラピー:つづら棚田の散歩道コース)

高齢化、過疎化が進んでいますが、棚田の原風景を守り、見守り活動や移動支援、空き家の活用など地区の人たちが安心安全に暮らせる地域づくりを目指しています。



写真右:会長 松木高雄、写真左:事務局長 足達秀樹